



道を利用する人の満足度向上のため、意見交換会を開催しています！



袋井土木事務所では、道路に関する地域のニーズを把握するため、意見交換の場となるミーティングを開催し、みちづくりを中心に幅広く意見交換を行っています。

この度、地域経済を支える商工会代表者の皆さまと「みち～満ち・充ちミーティング」を開催しました。

日時：平成28年7月27日（水）15：00～（約1時間）

場所：御前崎市商工会館 会議室

出席者：御前崎市商工会 役員18名

袋井土木事務所（所長、掛川支所長ほか6名）、道路企画課（1名）、御前崎市（2名）

「みち～満ち・充ちミーティング」とは？

開催に先立ち当事務所の戸塚所長より、
道路（みち～）を利用する人の
満足度を高める（満ち・）ため、
意見を聴かせていただきながら整備を進め（充ち）るため、
意見交換会（ミーティング）を行っていることが説明されました。



戸塚所長あいさつ



はじめに道路企画課より、静岡県の“みちづくり”が紹介され、概ね10年間の道路ビジョンと、5年間で取り組む重点計画の内容が説明され、あわせて、当事務所が御前崎市内で行っている道路事業について説明しました。

また、意見交換のトピックとして「地域活性化における道路のあり方」と題して、公共事業のストック効果について説明がされました。



道路企画課職員による
静岡県の“みちづくり”の説明

意見交換での主な発言

- 自動運転化に対応したみちづくりの取り組みはどうなっているのか？
- SA、PAなどの既存施設を活用したスマートICの優先整備についての提案
- RABの社会実験や今後の普及についての見通しはどうか？
- 地元要望を実現するための効果的な要望方法、優先順位について
- 中央分離帯の設置による地域への影響（メリット・デメリット）
- (国)473号の速度規制の緩和についての提案 など



意見交換の様子

意見交換を終えて

短い時間ではありましたが、交通安全対策や次の時代に向けた取り組みなど、活発な御意見や御質問をいただき、これからの公共事業についての理解や課題を共有化でき、たいへん有意義なミーティングとなりました。

いただいた御意見は、利用者の視点に立った利用しやすい“みちづくり”につなげてまいります。